



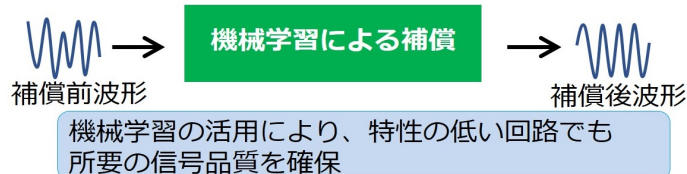
背景

6Gでは100Gbps以上のさらなる無線高速大容量化が必要となり、テラヘルツ波帯を移動通信に適用できる技術が求められます。

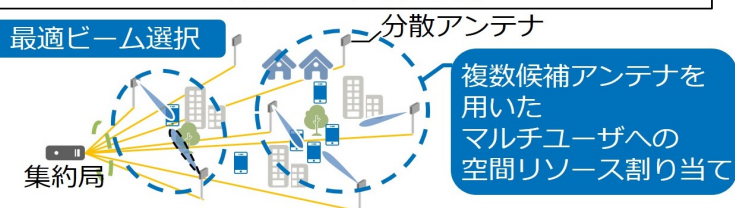
成果の概要

超高速無線通信（100Gbps超）に向けてテラヘルツ帯変復調技術における増幅器歪みを補償する技術や、移動環境で経済的に適用可能とするA-RoFによる経済的な分散アンテナ技術を紹介します。

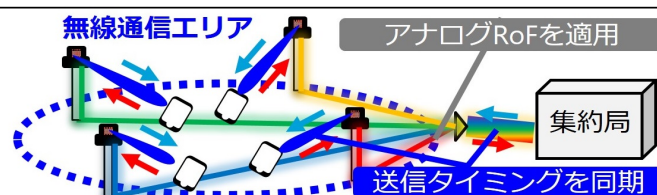
AIを活用したRF不完全性補償技術



高周波数帯分散アンテナシステムにおけるマルチユーザ伝送技術



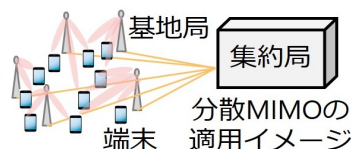
TDD無線システムを収容するアナログRoF技術



6Gシミュレータ



各技術をシステムレベルで評価



技術のポイント

- A-RoFを活用し簡易な無線張出局で経済的に高周波数帯無線エリアを構築する技術
- 高周波数帯分散アンテナシステムにおけるマルチユーザ伝送技術
- 参照点を機械学習により推定し、歪んだ信号を高品質に復調する技術

この研究がもたらす未来

設置性／施工性を向上・運用コストを低減しながら高周波数帯無線エリアを構築、大容量無線通信を実現します。

出展企業

日本電信電話株式会社

問い合わせ先

rdforum-exhibition@ml.ntt.com